

完了後の評価個表

整理番号	13
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	静岡県
地域（地区）名	てんりゅう 天竜	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	はままつし 浜松市ほか7市町	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H30年度（8年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	本地区は、南アルプスに連なる標高2,297mの中ノ尾根山^{なかのおねやま}を頂点に、南に向かって急峻な尾根が枝分かれし、洪積台地、扇状地、沖積平野が形成され、その間を菊川^{きくがわ}、太田川^{おおたがわ}、天竜川^{てんりゅうがわ}、都田川^{みやこだがわ}等の大小河川が遠州灘^{えんしゅうなだ}や浜名湖^{はまなこ}へ注いでいる。 本地区の森林面積は134千ha（区域面積の54％）で、このうち民有林面積は111千ha、人工林率は72％であり人工林の割合が多い特徴を持っている。 人工林の齢級構成は、1～7齢級が4％、8齢級～11齢級が22％、12齢級以上が74％となっており、本格的な森林資源の利用期を迎え、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。 本地区では、利用間伐等の推進により森林の整備が進んでいる一方、森林施業の集約化が進まず、整備の行き届いていない森林も存在しており、森林の有する水源涵養機能^{かん}や山地保全機能等といった公益的機能及び木材等生産機能の発揮に支障を及ぼしかねない状況となっている。 このため、森林経営計画の策定促進とあわせて、本事業により、水源涵養や山地保全機能等といった森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の維持増進を図り、施業の効率化と計画的な施業を推進するため、これらの推進と木材の安定供給に資する森林整備及び路網整備を実施したものである。 ・主な事業内容 森林整備 6,536ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐、森林作業道等 路網整備 4,045m 林道開設 ・総事業費 5,454,007千円（税抜き 5,105,271千円）
----------	---

① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	令和6年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。 事業着手以降、施業量の増加、路網整備の事業量が増加したこと等を踏まえ、費用便益分析を実施した。
------------------------	---

	総便益（Ｂ） 57,274,080 千円 総費用（Ｃ） 8,795,966 千円 分析結果（Ｂ／Ｃ） 6.51
② 事業効果の発現状況	本事業の実施により 6,536ha の森林が整備され、水源涵養機能等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。また、利用間伐の実施や高性能林業機械の使用等により作業が効率的に行われ、木材の安定的な供給に寄与するとともに、雇用の場が提供され、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。 整備された路網は、管理者により適切に維持・管理されており、良好な管理状況にある。
④ 事業実施による環境の変化	森林整備の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給等、多面的機能が発揮されている。
⑤ 社会経済情勢の変化	本地区の人口は年々減少傾向にあるが、林業作業員数は平成 25 年度以降ほぼ横ばいで推移している。 こうした状況の中、林業の現場では、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに森林技術者の育成を推進している。 また、県内では大規模な木材加工施設等が稼働しており、木材の安定的な供給を通じて地域経済の振興に貢献していくことがますます求められている。
⑥ 今後の課題等	森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林整備を継続的に実施するとともに、利便性の向上のため路網整備にも取り組む。また、主伐箇所はコンテナ苗や一貫作業システムを導入し更新作業の省力化、低コスト化を図ることに加え、植栽した苗木を獣害から守り確実な更新を促すため、獣害防護柵等の設置を推進するとともに、設置した防護柵等の維持管理の省力化に係る新たな取組も行う必要がある。 地元の意見： （浜松市） 本事業で整備された森林については、良好な環境が形成されており水源涵養や山地保全機能等の森林の有する公益的機能の維持増進に寄与している。一方で、未だ整備が進んでいない森林も存在することから、引き続き事業の継続をお願いしたい。林道及び林業専用道の整備により、森林整備や木材の搬出等が容易になり作業効率が向上しているため、引き続き林業労働の軽減や運搬コストの低減による林業生産性の向上が図られるよう継続した整備をお願いしたい。

評価結果	必要性： 本事業の実施により、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、間伐材等の供給に寄与しており、事業の必要性が認められる。 効率性： 林道の開設や高性能林業機械の導入により、造材や運搬等の作業の効率化が図られ、費用便益分析の結果からも、効率性が認められる。 有効性： 計画的な間伐や植栽等の事業の実施により、森林の有する多面的機能が向上し、その効果が持続的に発揮されており、事業の有効性が認められる。
------	---

便 益 集 計 表

（森林整備事業）

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：静岡県

地域(地区)名：天竜

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	16,432,740	
	流域貯水便益	3,438,821	
	水質浄化便益	14,473,073	
山地保全便益	土砂流出防止便益	11,020,451	
	土砂崩壊防止便益	1,458,309	
環境保全便益	炭素固定便益	3,354,302	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	140,105	
	木材利用増進便益	93,409	
	木材生産確保・増進便益	6,481,040	
森林整備経費縮減便益	造林作業経費縮減便益	1,849	
	森林整備促進便益	379,981	
総 便 益 (B)		57,274,080	
総 費 用 (C)		8,795,966	
費用便益比	$B \div C = \frac{57,274,080}{8,795,966} = 6.51$		

森林環境保全整備事業 天竜地域（静岡県）概要図



凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

